



クラスの様子【6月号】



ひよこ・りすぐみ 今月の目標

『他者と触れ合い、関りを深めていく。』

新年度がスタートし、早くも2ヶ月が経ちました。5月にはひよこ組に新しいお友だちが加わり、ひよこ・りす組全員で15人になりました。まだまだ寂しさや不安で泣いてしまうこともあります。自分の好きな玩具や絵本を見つけ、少しずつ園生活にも慣れてきているように感じています。集まりでは「サツとにげました」や「おやつたーべよ」の手遊びを流すと嬉しそうに保育士の真似をしたり、名前を呼ぶと元気よく「はい！」と手を挙げてくれます。はたらくくるまが好きな子が多くお散歩に行くと、バスやパトカーが通っていきみんなで手を振ったりじーっと見て興味津々な表情が見られます。少しずつ手をつないでお散歩も行けるようになってきました。6月にはりす組のお友達が1人増え全員で16人になります。子ども達同士の関りも深めていながら、楽しく体調に気を付けて過ごしていきたいと思ひます。(武久)



うさぎぐみ 今月の目標

『できることを自分でしようとする。生き物の命を認識して大切に扱う。』

5月は、天気の良い日が多く、戸外での活動が多く出来ました。お家で用意して頂いた水筒を持ち、帽子をかぶってのお散歩も、「でんでんむし、おるかなー。」「だんごむしおるかなー。」「かにさんおるかなー。」と楽しみを持ち出発しています。大きいクラスのお兄ちゃんお姉ちゃんのように水筒を持って出かける事が出来るのも、楽しみの一つのようです。水筒の掛け方も、危なくない持ち方を話して見本を見せると、真似をして持つことができ、水分補給の休憩も、自分で上手に水筒の蓋を開けて飲めるようになってきました。楽しいことに向けて、帽子をかぶったり、靴を履いたりすること等、一つひとつのことを自分でやろうという姿が多く見られるとともに、おともだちの姿を見て、自分もやろうと頑張る子もいました。また、困っているおともだちがいると、助けてあげようと自分から動くことが出来る子もおり、お互いの姿を見て育ちあう、集団の力だなと感じます。そして、給食では、トレイを持ち、自分でどの量にしようか選び、のせて自分の場所まで運んでいます。多いのがいいのか、少ないのいいのかを、じっと見て考えている子もいます。自分の食べる事が出来る量を知り、伝える事が出来るようになっていけるよう、子どもの姿を見守りながら、丁寧に進めていきたいと思ひています。現在、お部屋には、カニ・卵からかえったオタマジャクシ・アゲハチョウの幼虫と蛹がいます。生き物には興味津々で、外に出れば、ダンゴムシ・アリなどを探しています。小さい虫にも命があるということを伝えつつ、触っていい虫、いけない虫がいる事も、知っていく事が出来ればと思ひています。新年度が始まり2か月。子どもたちの成長には、驚く場面もありますが、体調面にも十分気を付けながら、楽しい経験をしていきたいと思ひます。(伊達)



以上児 今月の目標

『身近な自然や友だちとの関わりを楽しみながら、身の周りのことを自分でしようとする。』

涼しく過ごしやすい気温もあつという間に終わり、汗ばむほどの陽気も増えてきました。そんな中子どもたちは元気いっぱい遊ぶ姿があります。特に園庭での虫探しには夢中になっていて、ダンゴムシやアリ、ミミズを見つけてじっと観察したり、友だち同士で見せ合いっこをして盛り上がっています。早くも園庭でクワガタを発見して、大興奮の子どもたちの姿もありました。「みてみて!」「ちいさいよ!おおきいよ!」など、友だちや保育士と喜びを共有しながら、生き物への興味を深めています。虫との関わりを通して、命の大切さにも少しずつ気付き、生き物を大切に育んでいってほしいと思ひます。気温の高い日にはどろんこ遊びや水遊びも楽しみました。初めは汚れることを拒んで、遠慮気味の様子もありましたが、泥の感触や水の冷たさを感じながら、今では全身を使って伸び伸びと遊ぶ子どもたちです。五感をたっぷり使い、季節ならではの遊びを楽しんでいきたいと思ひます。また、どろんこ遊びや汗をかいた際の着替えを通して、自分の持ち物を確認したり、衣類の着脱を自分で行おうとしたりする姿が増えてきました。どうしたらいいかわからず困っている年少児を見かけると、優しく声をかけて教えてあげる場面もよく見かけます。身の回りのことに興味を持ちながら、自分でやってみようとする気持ちを大切に、少しずつ習慣として身に付けていけるよう見守っていきたくと思ひます。(小林)

